

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	第2回久喜市健康増進・食育推進会議
開催年月日	平成30年3月12日（月）
開始・終了時刻	午後1時15分から午後2時40分
開催場所	久喜市役所 大会議室
議長氏名	小松 智子
出席委員氏名	遠藤 登喜子、野田 恵子、早瀬 かおり、平塚 修子、 前田 昭信、山田 正一、小山 博子、笠巻 敬、大室 與五郎、 安東 広子、新井 克典、齊藤 誠、池上 榮一、得能 和代、 杉田 孝行、小松 智子
欠席委員氏名	島田 和子、染谷 和美、折原 憲司、坂田 庄巳
説明者の職氏名	真坂健康医療課長、小島健康企画係長、高島主事
事務局職員職氏名	関根健康増進部長、杉村健康増進部副部長兼国民健康保険課長、 真坂健康医療課長、小島健康企画係長、高島主事
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）第6回久喜市健康づくり・食育推進大会実績報告について （2）第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく事業計画（案） について （3）自殺対策計画の策定について 4 その他 5 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1 第6回久喜市健康づくり・食育推進大会実績報告 ・ 資料2 第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく事業計画（案） ・ 資料3 自殺対策計画の策定について
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審議会等会議録

発 言 者	会議のてん末・概要
司会(真坂課長)	<p>1 開 会</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は大変お忙しいところ、ご参集いただき誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今より、第2回久喜市健康増進・食育推進会議を始めたいと存じます。</p> <p>はじめに、市では審議会等を開催した場合には、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例により、会議録を作成し公表することになっております。</p> <p>公表するにあたり、本日、出席された委員の皆様には、会議録の内容をご確認いただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会を務めさせていただきます、健康医療課長の真坂と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、会議に入る前に、配布資料の確認をさせていただきたいと存じます。</p> <p>まず、事前に配布させていただきました資料でございますが、4点の資料でございます。</p> <p>1つ目が、第2回久喜市健康増進・食育推進会議 次第</p> <p>2つ目が、資料1 第6回久喜市健康づくり・食育推進大会実績報告</p> <p>3つ目が、資料2 第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく事業計画(案)</p> <p>4つ目が、資料3 自殺対策計画の策定について</p> <p>以上4点でございます。お手元でございますでしょうか。</p> <p>次に、本日の会議の終了予定時刻ですが、2時45分とさせていただきたいと考えております。ご協力をお願いいたします。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>それでは、次第の2 あいさつでございます。本会議の会長でございます、小松会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。小松会長どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>(小松会長あいさつ)</p>
司会(真坂課長)	<p>ありがとうございます。続きまして、関根健康増進部長よりごあいさつ申し上げます。</p>

<p>司会(真坂課長)</p>	<p>(関根部長あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日は、お2人の委員の方から欠席のご連絡をいただいております。欠席のご連絡をいただきましたのは、島田 和子委員、染谷 和美委員の2名でございます。</p> <p>あと3名の委員の方々につきましては、到着が遅れているものではないかと考えております。</p> <p>(折原 憲司 委員、坂田 圧巳 委員も欠席)</p> <p>委員の出席数につきましては、過半数に達しておりますので、本会議が成立していることをご報告申し上げます。</p>
<p>司会(真坂課長)</p>	<p>3 議 題</p> <p>それでは、次第の3、議題に入らせていただきます。</p> <p>議事の進行につきましては、久喜市健康増進・食育推進会議条例第7条第1項の規定によりまして、推進会議の会長が議長になるとなっておりますので、小松会長に議長をお願いし、議事を進めていただきたいと存じます。</p> <p>小松会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長(小松会長)</p>	<p>それでは、暫くの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>円滑に議事が進行いたしますよう、皆様方の特段のご協力をお願いいたします。</p> <p>次第に戻りまして、議題の(1)第6回久喜市健康づくり・食育推進大会実績報告について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局(高島主事)</p>	<p>それでは、平成29年11月5日に開催いたしました第6回久喜市健康づくり・食育推進大会の実績について報告いたします。各会場毎に集計した結果、大ホールにおきましては、受付者数はプログラムの配布者数1,150人で、そのうち368人の方からアンケートを回収することができました。入場者数につきましては、開会セレモニーでは約300人、講演会では約550人の方々にご来場いただきました。</p> <p>大ホールホワイエにおきましては、久喜白岡薬剤師会にご協力いただき、グリコヘモグロビンA1cの無料検査を実施しました。こちらは糖尿病の検査で、60人を検査した結果、うち12人が糖尿病疑いとなり医療機関の受診を勧奨いたしました。</p> <p>また、広域文化展示室におきましては、食育に関するパネルやポスターの展示を行い、644人の方にご来場いただきました。また、中央保健センター、国民健康保険課、埼玉県立久喜図書館による各種啓発品等の配布を行いました。</p>

<p>議長（小松会長）</p>	<p>た。</p> <p>その他につきましては、各種ご協力いただいた団体の実績数が記載されておりますので、目を通していただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。ただいま事務局から、第6回久喜市健康づくり・食育推進大会実績報告について説明がありました。ご質問、ご意見等ありましたら、お願いします。</p> <p>当日、ご参加いただいた方はどの位いらっしゃいますか。挙手をお願いいたします。</p> <p>(委員数名が挙手)</p> <p>ありがとうございます。ほとんどの方にご参加いただきありがとうございました。この推進会議で検討したものをもとに、推進大会において、実行委員会がやっているわけでございます。審議委員の皆さんの中にも、当日、実行委員として手伝っていただいた方も沢山いらっしゃいます。また来年度もよろしくお願いいたします。</p> <p>質問などありますでしょうか。</p>
<p>新井委員</p>	<p>大ホールは何人入るのですか。</p>
<p>事務局（小島係長）</p>	<p>1,200人収容することができます。</p>
<p>新井委員</p>	<p>講演会で550人ということでしたが、結構混み合っていたように感じました。実際、座れた人の数を教えてください。</p>
<p>事務局（真坂課長）</p>	<p>入場者につきましては、概数でご報告させていただきました。おおよそ半分近く入っていたということで550人とさせていただきます。プログラム配布数は1,150人、途中で出入りもありましたので、講演会の概数ということで捉えていただければと思います。</p>
<p>議長（小松会長）</p>	<p>他にございますでしょうか。</p> <p>それでは、(1) 第6回久喜市健康づくり・食育推進大会実績報告については、よろしいでしょうか。</p> <p>(意見、質問等なし)</p> <p>続きまして、議題の(2) 第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく</p>

<p>事務局（小島係長）</p>	<p>事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは、資料2について説明いたします。その前に、本日、ご持参いただいております第2次久喜市健康増進・食育推進計画のP30、P31をお開きください。2計画の体系が示してあります。</p> <p>P30、「笑顔あふれる 元気なまち 久喜市」を基本理念とし、基本方針が4つございます。取組みの方向性は5つございますが、1から4までの取組みの方向性に関連するP31の分野別の項目、さらに右の施策の項目に取り組んでまいります。</p> <p>ここで、ご覧いただきたいのが、P31の分野別の項目でございます。</p> <p>上から1番目の「身体活動・運動」から11番目の「若い世代を中心とした食育の推進」までを平成29年度から平成34年度までに実施していくものでございます。</p> <p>次に、資料2をご覧ください。</p> <p>開催時期6月、11月、その下に9月と3月がございます。</p> <p>6月は食育セミナーのことで、こちらは市が主催で実施してまいります。</p> <p>11月は健康づくり・食育推進大会のことで、こちらは実行委員会と市が主催で実施してまいります。そして9月と3月は自殺予防キャンペーンのことで、市が主催で実施してまいります。</p> <p>先ほど計画書で説明しました4つの取組みの方向性と、分野別の項目11項目を、この表の平成29年度から平成34年度の表にあてはめた案となっております。</p> <p>6月の食育セミナーは食育推進計画の部分でございまして、取組みの方向性は「2. 健康長寿を延伸する食育の推進」及び「4. 分野別の食育の推進」でございます。また、11月の健康づくり・食育推進大会は健康増進計画の部分でございまして、取組みの方向性は「1. 分野別の健康づくりの推進」、「3. 生活習慣病の発症予防と重症化予防」及び「2. 健康長寿を延伸する食育の推進」でございます。</p> <p>なお、取組みの方向性「2. 健康長寿を延伸する食育の推進」につきましては、健康増進計画及び食育推進計画の両方に該当することから、どちらにも入っております。</p> <p>平成29年度におきましては6月の食育セミナーでは、「栄養・食生活」及び「環境を意識した食の循環」を分野別の項目として、また11月の健康づくり・食育推進大会では、「心疾患・脳血管疾患・COPD・糖尿病・CKD」を分野別の項目といたしまして実施したところでございます。</p> <p>第1回の推進会議でお願いしましたところ、事前に平成30年度の事業に係るご意見をいただきありがとうございました。参考とさせていただきます。</p> <p>次の平成30年度の食育セミナーにつきましては、6月に開催することが難</p>
------------------	---

<p>議長（小松会長）</p> <p>杉田委員</p>	<p>しいため、7月に開催する予定でございますが、「歯・口腔の健康」及び「地産地消の推進」を分野別の項目として、また11月の健康づくり・食育推進大会では、「休養・こころの健康」及び「たばこアルコール」を分野別の項目として実施する予定でございます。</p> <p>平成31年度以降の食育セミナーでございますが、案でございますが、平成31年度は、「地産地消の推進」、平成32年度は「環境を意識した食の循環」、平成33年度は「若い世代を中心とした食育の推進」、平成34年度は「食文化の伝承」を分野別の項目として実施したいと考えております。</p> <p>平成31年度の「地産地消の推進」については、農産物直売所マップが新しくなった次の年度のため、平成33年度の「若い世代を中心とした食育の推進」につきましては、学校給食センターが稼動した次の年度のため、また平成34年度の「食文化の伝承」は、シティプロモーション推進指針により郷土料理をPRする年度になっていることから、それに合わせまして、効果的に推進するため、このような順番といたしました。</p> <p>次に、平成31年度以降の健康づくり・食育推進大会の分野別の項目でございますが、こちらは実行委員会のご意見を伺い、平成31年度につきましては「身体活動・運動」とさせていただきたいと思っております。</p> <p>これは、平成31年度が、オリンピック・パラリンピック開催の前年度であるため、「身体活動・運動」としたものでございます。</p> <p>なお、平成32年度の「栄養・食生活、食の安全・安心」、平成33年度の「がん」、平成34年度の「歯・口腔の健康」につきましては、実施する順番を実行委員会にて決定していただきたいと思いますと考えておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>以上が、第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく事業計画（案）でございます。</p> <p>ありがとうございました。ただいま事務局から、（2）第2次久喜市健康増進・食育推進計画に基づく事業計画（案）について、説明がありました。ご質問、ご意見などありますか。</p> <p>平成30年度の事業内容については、前回皆さんにご了解いただきました。</p> <p>第2次久喜市健康増進・食育推進計画の策定にあたっては、審議委員の皆さんが苦勞して作り上げたものでございます。</p> <p>第2次久喜市健康増進・食育推進計画を机上のプランにしないように、ここに挙げたものを実際に行っていきましょう。来年度については、ただいま説明があったとおりですが、何か気になる点など質問はありますか。</p> <p>計画（案）にあります、平成33年度の「若い世代を中心とした食育の推進」と平成34年度の「食文化の伝承」については、具体的には何かありますか。</p>
-----------------------------	---

事務局（真坂課長）	<p>まず、平成33年度の「若い世代を中心とした食育の推進」については、前から「若い世代、子どもたちの食育は重要だ、学校給食の関係はどうだろうか」という話題がこの会議でも挙がっていました。学校給食の関係につきましては、理科大跡地の中に学校給食センターが造られるとの方向性が示されたので、平成32年度から稼動して、平成33年度には給食センターの取組みなどを市民の皆様に周知する良い機会となるのではないかと考えて、設定したところでございます。</p> <p>また、平成34年度の「食文化の伝承」につきましては、これまでこの会議の中でも久喜市の郷土料理は何だろうか、新しい久喜市の郷土料理を作ってはどうかなど、様々なご意見をいただいています。平成34年度までにはまだ期間がございますので、少し検討していきたいと思いますが、ちょうどシティプロモーション推進指針の中でも、平成34年度に郷土料理を周知していこうという計画がありますので、郷土料理という視点でも、それと合わせるような形で何か考えてみてはどうかというところです。</p>
議長（小松会長）	<p>よろしいですか。</p>
杉田委員	<p>若い世代を中心とした食育の推進ということで、先程、学校給食と言いましたけれど、そこに出す地元の野菜を出荷している方はおそらくいると思います。その人たちにも呼びかけて、地元で作った野菜がお子さんたちに食べられているということをPRできれば良いかと思います。</p>
事務局（真坂課長）	<p>ありがとうございます。ただ今、杉田委員さんから、ご意見がございましたが、地元の農業者の方々との地産地消の関係になるかと思いますが、その点につきましては、平成30年度から分野別の食育の推進の中で、地産地消の推進を来年度の食育セミナーにおいて周知をしていきたいと思っています。これにつきましては、杉田委員さんを始め農業関係者の方々とも連携を図っていききたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
議長（小松会長）	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
前田委員	<p>特に意見ということではございませんが、今、事務局から説明のありました事業計画（案）の前提というか、基本的な考え方について、私なりにおさらいをしたいと思います。冒頭に会長からお話がありましたように、ちょうど1年前に2つの計画を1つにした計画ができましたが、これはただまとめただけでなく、関係者が努力をして作った計画です。計画をつくったから仕事が終わるというのが私の経験値としてよくありがちです。ところが市民一人ひとり</p>

	<p>の健康づくりというのは、子どもからお年寄りまでの永遠のテーマでありますから、この体系の方向性を今後の年次計画に従って、テーマとして大々的に取り上げて、それをどうやって着実に段階的に推進していくかという主旨で事務局が苦労して計画（案）を作っているわけです。その中身を段階的にこれから組み立てて行くのは、まさにこの審議会であり、実行委員会であり、事務局であり、これらが一体となって知恵を結集していくのであらうと思います。そういう意味では、方向性が非常に明確になってきた、それをどう具体化していくのかということに、さきほど杉田委員の意見もありましたように、それぞれが意見を出し合って、よい形の大会にしていく必要があります、そのことが市民のためであるというふうに思っています。ぜひ、この方向でお互いに力を結集してやっていければいいのかなと思います。</p>
<p>議長（小松会長）</p>	<p>ありがとうございました。前田委員さんの言っていたとおりでございます。動き出して、間もなく、2年目に入ろうとしておりますが、事業計画（案）に従って、やることははっきりしてきました。今日の説明だと、平成30年度、食育セミナーでは、「歯・口腔の健康」、「地産地消」、健康づくり・食育推進大会では「休養・こころの健康」、「たばこ・アルコール」というテーマだけは決まりました。それをどのようにやっていくことが良いのか、この推進会議委員の皆さんの忌憚りの無いご意見をいただき、食育セミナーと健康づくり・食育推進大会に一人でも多くの市民にご参加いただき、良かったねと思っただけのようにしたいと思っております。</p> <p>早速、食育セミナーのテーマとなっておりますが、歯科医師の斉藤委員、いかがですか。</p>
<p>斉藤委員</p>	<p>歯科医師の斉藤でございます。歯科医師会の方でも、ご要請を受けまして、検討中でございます。細かくはまだ決定しておりません。本日、真坂課長と歯科医師会長と打ち合わせをして決まると思います。</p> <p>埼葛歯科医師会の学校歯科部というところで「噛むことの大切さ～食べ方から始める子どもの食育～」というちょうど食育に関する冊子の発行したところでございますので、今のところ考えているのは、この本を基本にしまして、内容に沿って講演をするのが良いのではないかと、講演者につきましては、この冊子の作成に関わられた方、ご尽力いただいた方が中心にやっていただくのが良いのではないかと考えているところです。</p>
<p>議長（小松会長）</p>	<p>ありがとうございました。11月の健康づくり・食育推進大会において、薬剤師会さんには、60名の方のグリコヘモグロビンA1c検査をしていただきました。また、必要な方には、さらに医療機関の受診を勧めることができました。ぜひ委員の皆さんから、ここをこうした方が良いというご意見をいただ</p>

池上委員	<p>ければ、実行委員会でも、これから練り上げて詰めていきますので、そういうお声をいただきたいと思います。</p> <p>池上委員いかがですか。</p> <p>昨年度は、埼玉県薬剤師会から予算が出ていましたので、無料でグリコヘモグロビンA1cの検査ができましたが、当年度は予算がありませんので、やりますけれども、少しご負担いただくことになるかと思えます。器械等は借りられますので、試薬なり、最低でも500円、500円ご負担いただいても少し赤字ですが、実施することは可能です。</p> <p>それから、私は経験値として学校給食委員を長年やっております。久喜市の学校給食に40年以上関わっております。地産地消の件で、特に全農さんが40年間給食を作っておりますので、膨大なデータを持っています。これは宝の山なので、ぜひ利用してもらいたいと思います。以上です。</p>
議長（小松会長）	<p>ありがとうございました。11月の健康づくり・食育推進大会のテーマは「休養・こころの健康」それから「たばこ・アルコール」いう分野別の項目になりますが、ご出席の委員の皆様、いかがでしょうか。お考えがありましたら、出していただいて実行委員会と連携していきたいと思えます。</p> <p>何かありますか。</p> <p>新任の委員の皆様も実行委員会に入ってくださいと、上手く行くのかなと思えます。平成30年度新たに実行委員会に入ってくださいの方がいらっしゃいましたら、申し出ていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、他によろしいですか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>それでは、続きまして、議題の(3)自殺対策計画について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局（小島係長）	<p>それでは、資料3自殺対策計画に策定について説明いたします。</p> <p>まず、1.自殺対策計画策定の背景と目的についてです。誰も自殺に追い込まれることのない社会を実現するため、自殺対策を地域レベルの実践的な取組みによる生きることの包括的な支援として再構築し、自殺対策の更なる推進を図る観点から、平成28年の自殺対策基本法の一部改正では、地方公共団体が地域自殺対策計画を策定することが義務付けられました。</p> <p>具体的には、自殺対策基本法において、都道府県は、自殺総合対策大綱及び地域の実情を勘案して、都道府県自殺対策計画を定めること、市町村は、自殺総合対策大綱及び都道府県自殺対策計画並びに地域の実情を勘案して、市町村</p>

<p>議長（小松会長）</p>	<p>自殺対策計画を定めること等が新たに規定されました。</p> <p>国の流れを受け、本市においても自殺対策計画を策定し、自殺対策を総合的に推進する必要があります。こうした背景を基に、これまでの取組や自殺対策基本法の改正を踏まえ、埼玉県自殺対策計画並びに本市の実情を勘案して、本市における自殺対策をより一層推進するため策定するものです。</p> <p>なお、埼玉県は平成30年3月に策定予定、久喜市は平成31年3月に策定予定でございます。推進会議委員の皆様におかれましては、計画策定前の秋頃にご意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（真坂課長）</p>	<p>そのご意見を伺いたいというのは、会議を持つのですか。</p> <p>こちらの計画策定にあたっては、パブリックコメントにより市民の皆様からご意見をいただく予定ですが、そのパブリックコメントにかける前の素案の段階で、こちらの健康増進・食育推進会議でのご意見を反映させたいと思っております。</p> <p>それは、市民のご意見をいただく場ということで、設定をします。</p> <p>こちらの計画策定につきましては、国から手引きが届いておりまして、その手引きの中では健康増進計画や福祉計画、そういった計画と抱き合わせて策定しても良いとされています。本市としましては、健康増進計画にも「こころの健康」の分野がありますので、関係がある、そういう意味でこちらの審議会からもご意見をいただくという場を持ちたいと思っております。</p>
<p>関根健康増進部長</p>	<p>すみません。私の方からも補足させていただきます。自殺対策計画につきましては、単独で作る方向でおります。先にご審議いただいた第2次健康増進・食育推進計画の最終年度を見据え、次の第3次計画策定の際には、健康対策の一部として自殺対策計画を合わせて盛り込んでいけたらと事務局で構想を考えているところでございます。国から示されている案がありまして、それを庁内で検討し、審議会の委員さんのご意見をお聞きしながら、案の策定を考えていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>議長（小松会長）</p>	<p>ありがとうございました。いかがでしょう。</p> <p>質問はありますか。それでは、(3) 自殺対策計画については、よろしいでしょうか。</p>
<p>新井委員</p>	<p>平成30年度の健康づくり・食育推進大会のテーマは「休養・こころの健康」ということで、かなり関わってくるので、ここでどのような立場でこの大会をやるかというのが問題になってくるかと思えます。11月に大会をやって、翌3月に久喜市のプランを作るとなると、11月にシンポジウムのような形で活</p>

事務局（真坂課長）	<p>発に議論を行って、それを踏まえてプランを作るとすごく良い流れになるかと思いますが、11月の大会の具体的な内容はまだできていないのでしょうか。国の方針は出ているが、久喜市の方針はできていないのですか。</p> <p>ただ今のご意見は、11月の大会と自殺対策の抱き合わせの案ということだと思います。先日、11月の大会の内容につきましては、実行委員会役員会を開催したところで、3月16日には実行委員会を開催します。そちらの意向であるというのがひとつと、また事務局の方の自殺対策計画策定のスケジュールとしましては、庁内の会議を何回か重ねまして、11月頃にはまた皆様に素案をお見せしたいと考えているところです。11月の大会に向けてその計画を作りながら、なおかつ実行委員会の皆様と協議をしてそういった内容にしていくというのはとても良い案だと思うのですが、少し難しいかと考えております。小松会長が実行委員会委員長でもございますので、実行委員会のことを説明していただけるとありがたいです。</p>
議長（小松会長）	<p>3月16日に実行委員会がありますが、その前に役員の方と平成30年度のテーマに即した取組みの方向性について小会議を持ちました。大会でどのようなことをやろうかということで、例えば学校教育の中で子どもたちを対象と考えたときには、こころの健康の分野でいじめや自殺のことも出てきました。学校への取組みとすると、休養・こころの健康というテーマをもっと具体的にされた方が良く、うちの学校はいじめを無くそうとか、あるいは、笑いというのが健康づくりにとても良いですね。笑いは病気を治すというくらいで、「笑い」で調べるとたくさん情報が出てきて勉強になりました。学校教育の中では、久喜市が目指す「笑顔あふれる元気なまち」、笑顔あふれる家庭、笑顔あふれる学級・学校、笑顔あふれる職場、それが一番大事だと私は思います。久喜市はとても良いテーマを掲げたと思います。この話を先日校長会の中で話しましたが、実際学校の中にいじめはあります。</p> <p>最近のニュースでもありましたが、自殺がありました。ここでいう心の健康というのは、考え方が前向き、物事を前向きに考えていこうということで、このテーマを学校に持っていこうと思います。下準備は担当がやっていますが、このテーマを学校が待っていますので、4月の校長会では明らかにしていきます。</p> <p>先ほど、新井先生がおっしゃったように、そういうディスカッションする場もとても大事だと思います。</p> <p>小学生、中学生、高校生、大学生、大人と、こころの健康は皆、違ってくると思いますので、国、県、そして、これから市で計画を策定するならば、久喜市でやっている取組みについても踏まえたうえでの自殺予防について考えていくべきであると思います。</p>

	<p>新井先生がおっしゃることは良く分かります。ただ、それはちょっと間に合わないかもしれませんね。</p> <p>それでは、他にありますか。</p> <p>遠藤委員さん、いかがですか。</p> <p>(以下、順番に委員から意見を伺う)</p>
遠藤委員	<p>専門外なので、分からないのですが、心の健康は大人の話かと思っていましたが、子どももいじめや自殺の問題は多いので、しっかりやるべきだと思いました。大人も会社のストレスなど心の健康についても何かできたら良いと思います。</p>
野田委員	<p>第2次の推進計画の中では、自殺のことについて、久喜市では、身の回りに相談できる人がいるということで安心しましたが、埼玉県では電話相談の窓口があるらしいです。だからまず相談できるのが良いかと思います。</p> <p>また、「たばこ・アルコール」についても、低年齢層が増えていて、先日、病院に行ったときに、小学校高学年くらいの子が禁煙外来の受診をしているようで、驚きました。以上です。</p>
早瀬委員	<p>ちょうど昨日、新潟で人間関係について講演をしてきたところですが、心の健康については、子どもと大人の場合では全くアプローチが違います。区別してやっていかないといけないと思います。</p> <p>いじめは無くならないと私は思っていて、めだかできえいじめは起きるので、いじめは無くならないという前提で、学校でいじめられそうになった時に、どういう心持ちで、どういう思考をもって、そこを乗り越えていくのかということを経験していかねばならないと思いました。</p>
平塚委員	<p>7月の食育セミナーのテーマについては、「歯・口腔の健康」ということで、大人も子どもも関係があり、食事をするにも早食いとか色々問題があると思いますので、健康のためにやっていただきたいです。</p> <p>それから、「休養・こころの健康」、「たばこ・アルコール」については、オリンピックが来るのにお店などまだ禁煙・分煙が徹底しないので、もっと健康のために皆に知ってほしいと思います。「たばこ・アルコール」のことを11月の推進大会で啓発できたら良いと思います。</p>
安東委員	<p>「たばこ・アルコール」は良く分かりません。申し訳ないです。先ほど、小松先生からお聞きした笑いが大事という話を聞いてピンと来たのが、先日、久喜北小のゆうゆうの発表を聞いたのですが、漫才をやっていました。とてもう</p>

<p>大室委員</p>	<p>けていて、まさにこのことだと思いました。</p> <p>私は食改の委員なので、来年度、30年度の食育セミナーのテーマが歯と口腔の健康で、噛むことの大切さということをお聞きしたので、いつも試食を担当しているので、すごく良いのをもらったと思いました。ぜひ噛むことが大切な試食を考えていきたいです。</p> <p>自殺対策について聞きたいのですが、今まで駅前やモラージュ菖蒲等で啓発をやってきましたが、それ以上の具体的な手は打たないのですか。その辺を踏まえて検討する必要があるのではないのでしょうか。私が東鷲宮駅前でやった時は人がいなくて大変でした。職員さんが大変だったのではないのでしょうか。もう少し動員して、多くの方に啓発した方が良いのではないかと考えていますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>笠巻委員</p>	<p>自殺対策ですが、私は本業で自傷の現場をいろいろ見ていますが、特にご家族がその現場を発見するとかなり悲しまれるので、そういうことになる前に心のケアが一番大事になるということは当然のこととして、そういうことをすることによって、誰が一番悲しむのかなということを伝えていく必要があると思います。</p> <p>電車の飛び込みなどは、かなりの損害賠償が発生して、さらに遺族が大変な損失を被ると思いますので、やはり未然に防げるような計画策定を皆さんで考えてやっていければと思います。</p> <p>あと、たばことアルコールというのは、成人、20歳以上には国として認められていることなんですけど、当然依存症になれば健康を害して、なおかつ未成年の方も残念ながら隠れて吸っているの、その辺を若い世代にもっと強く伝えていく必要があると思います。</p> <p>また、平成31年度の「身体活動・運動」に関しましては、私が言った手前、一生懸命頑張らさせていただきたいと思います。よろしく願いします。</p>
<p>議長（小松会長）</p>	<p>はい、今から考えておいてください。</p>
<p>小山委員</p>	<p>私、小山と申します。この委員会に参加させていただき、2年勉強させていただきました。市がこのような取組みをしているということを知らなかったの、勉強させていただき、有り難かったと思います。私は今年で一応終わりますので、今後とも関心を持ってやっていきたいと思ひます。よろしく願いします。</p>
<p>山田委員</p>	<p>自殺の問題を今、皆さんのお話を伺って、社会的な変化や背景があつてのことなんだろうけど、各々の心の関係についてはなかなか推し量ることはできな</p>

池上委員	<p>いですが、いかにそれを察知することができる社会を作っていくのかが重要であると、それを踏まえて久喜市の特徴のある計画策定ができれば良いと思います。</p> <p>久喜市の住みやすさは全国でも一番と言われている街なんですね。その他のものでも、東京都を除けばほとんどのものがベストテンに入ってくるくらい住みよい街であるということですが、そのことを知っている人はあまりいないみたいです。それくらい評価が高いということで、そういったところに住んでいる我々がもっと良い計画を立てて、一番でないところはもっと上に伸ばせるようにすれば良いと思います。</p> <p>自殺に対しましては、笠巻さんがおっしゃったとおりに残された方々が非常に悲しむということを、自殺をしようとする方に考えてもらえれば、多少なりとも思いとどまってもらえるのではないかと考えました。</p> <p>グリコヘモグロビンA1cの検査については、平成29年度予算がついたということで、かなりの人がやっています。川口とか幸手では600人、700人くらいの方がやられていまして、多分埼玉県全体では5,000人、6,000人がやっているといます。その中で、久喜の結果と同じくらい、20%くらいの方が6以上の数値で隠れ糖尿病でしょうか、意外といることを感じました。隣の白岡でも100人近く実施しましたが、やはり同じくらいの割合で、数値の高い方が見つかりました。</p> <p>飽食の時代で、食べすぎたから糖尿病になるわけではなくて、遺伝の要素が多いですけれども、糖尿病の遺伝でもちゃんとした食生活をしていれば糖尿病を発症するわけではないので、食育を学んでもらえば、食育がしっかり行き渡れば、因子を持っている方も発症しないですむのではないかと考えています。</p> <p>たばこ、アルコールは国の税収の一環として本来はたくさん売り上げがほしいところでしょうけれども、一方、健康づくりのためには喫煙、飲酒はやってはいけませんよということです。しかし、身体だけでなく心まで蝕んでいきますので、健康づくりのために良くないものは良くないとしっかりアピールできればと思います。以上です。</p>
齊藤委員	<p>自殺につきましては、多岐に渡るので一概には難しいと思います。ただ、やはり、いじめ自体は確かに無くならないかもしれないです。私が思うには分野は教育委員会になるかと思いますが、もっと幼少期の道徳教育を深く具体的にやっていただいた方が、日本民族的なものを含めて、良い時代が蘇ってくるのかなというふうに考えています。</p> <p>自殺対策、これからやっていただくわけでございますけれども、具体的には、そういった時にどうやって立ち直る機会が設けられるのか、あるいは追い込まれないための逃げ道も含めてご教授いただくと良いかと思っています。また、相談</p>

<p>得能委員</p>	<p>したいときには、相談できる窓口の普及も積極的にやっていただくのが良いと思います。以上です。</p> <p>社会福祉協議会の得能と申します。社協では、「福祉何でも相談」という窓口を設けておまして、自殺の思いを持っている方、それから心の不安な方、ご相談を受ける機会が多々ございます。年代も多岐に渡ってまして、高齢者だけでなく、30代40代くらいの方もお電話くださる方、多いです。やはり世代によって対応策は違いますので、こういった会議、それから大会を通じまして、私どもも支援の仕方、それから皆様とどのような形で協力して、繋がっていったら良いか、教えていただければいいなと思いました。今後ともよろしくお願いいたします。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>自殺について、昨今はネット社会ということで自殺は騒がれているような時代ですが、子どもだけではなく大人の自殺もかなり多いわけです。最近では財務省の職員が自殺しましたが、自殺には何か根拠があるのではないかと思います。そういうことを踏まえてこれから心のケアを相談できる場所が必要かと思えます。</p> <p>健康ということでは、昨年大会で清久の齋藤先生が来てくれましたが、毎日、私の家の前を散歩しています。学校の校長先生を辞めてから、何年か前までは野菜作りをしていました。土と触れ合うというのが一番大切かと思えます。土と触れ合うと健康でいられるのかなと思えます。</p> <p>現在、久喜のキラリ直売所の生産者は70歳以上が8割、それを消費する方も高齢者が多いです。新鮮な野菜を食べているから皆さん生き生きとして健康なのだということが毎日、直売所で見ていて伺えます。以上でございます。</p>
<p>新井委員</p>	<p>医師会から来ております新井と申します。</p> <p>今までの健康・食育まつりから、健康づくり・食育推進大会に名前が変わっていますけれど、これまでは生活習慣病などテーマがかなり狭く絞られていた状況でしたので、すぐに講師を頼むことも出来ました。</p> <p>食育セミナーについては齊藤委員さんの方でやっていただければ良いと思いますが、健康づくり・食育推進大会につきましては、「休養・こころの健康」と「たばこ・アルコール」ということで、非常に日常生活に密接に絡んでいることで、今、お聞きしただけでも既に大変多くのテーマが挙がってしまっている状況ですので、実行委員会で出来るだけ早くポイントを絞っていかないと幅広いテーマになっているので大変かと思えます。</p> <p>皆さんがつくる食育セミナーであり、健康づくり・食育推進大会でありますので、実行委員会のほうにも皆さんどんどん協力いただいて、早めにご意見を出していただけると有り難いと思います。本日はありがとうございました。</p>

議長（小松会長）	<p>皆様のご協力により、建設的なご意見をいただきました。委員の中には実行委員をいただいている方も何人かおられますので、3月16日にこの会議の意見を反映させ、先ほど新井委員がおっしゃったように早く大会内容の焦点化を進めていきたいと思っております。ぜひご協力をお願いいたします。</p> <p>市主催の食育セミナーが7月とのことですが、具体的な開催日時はいつですか。</p>
事務局（小島係長）	<p>開催日は平成30年7月22日（日）、場所は栗橋文化会館（イリス）を予定しております。</p>
議長（小松会長）	<p>はい、分かりました。これは、実行委員会でもお話いただけると良いですね。それでは、議題について全て終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。</p> <p>委員の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。</p>
司会（真坂課長）	<p>4 その他</p> <p>ありがとうございました。委員の皆様、大変お疲れ様でした。次第の4「その他」でございます。事務局から、ご連絡等を申し上げます。</p>
事務局（小島係長）	<p>平成30年度の会議日程についてでございますが、2回を予定しております。</p> <p>できれば7月頃、11月頃です。決まりましたらご通知させていただきますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
司会（真坂課長）	<p>この点につきましては、ご質問等はございますでしょうか。</p> <p>（質問なし）</p> <p>では、ご質問等がないようですので、次第の5「閉会」に移りたいと思っております。それでは、新井副会長ごあいさつをお願いいたします。</p> <p>5 閉 会</p> <p>（新井副会長あいさつ）</p>
司会（真坂課長）	<p>ありがとうございました。それでは以上をもちまして、第2回久喜市健康増進・食育推進会議を散会とさせていただきます。皆様、大変お疲れ様でした。</p>

本日はありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成30年 4月 2日

久喜市健康増進・食育推進会議 会長 小松 智子